

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【公表番号】特表2013-537577(P2013-537577A)

【公表日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【年通号数】公開・登録公報2013-054

【出願番号】特願2013-523243(P2013-523243)

【国際特許分類】

C 09 J 7/02 (2006.01)
B 32 B 5/24 (2006.01)

【F I】

C 09 J 7/02 Z
B 32 B 5/24 101

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月31日(2014.7.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

接着テープであって、

(a) 第1及び第2の対向する主表面を有するフォームコア層、並びに前記フォームコア層の両側に配設される一対のバリア層を備える裏材層と、

(b) 前記裏材上に配設されるスクリムと、

(c) 前記裏材及びスクリム上に配設される接着剤と、

を備える、接着テープ。

【請求項2】

前記フォームコア層が、化学的発泡剤を使用して形成されるプローフォームフィルムである、請求項1に記載の接着テープ。

【請求項3】

前記裏材の第1及び第2の主表面のうちの少なくとも1つが、少なくとも約2.5マイクロメートルの表面粗さを有する、請求項1に記載の接着テープ。

【請求項4】

前記テープが、ロールの形態で提供され、テープロールが、約110oz/in(12.0N/cm)未満の巻き戻し力を有する、請求項1に記載の接着テープ。

【請求項5】

ダクトテープの製造方法であって、

(a) 化学的発泡剤を使用する連続プローフィルム押し出しプロセスを使用して、第1及び第2の対向する主表面を有するフォームコア層と、前記フォームコア層の両側に配設される一対のバリア層とを備えるフォームフィルム裏材層を同時に形成する工程と、

(b) 前記バリア層のうちの1つに沿って強化スクリムを供給する工程と、

(c) 前記スクリムに沿って感圧接着剤を供給する工程と、
を含む方法。